



シリーズ・2019夏季手当のたたかい③

「基準内賃金3, 2カ月」要求!

中央本部は5月17日申22号夏季手当要求として「**基準内賃金3, 2か月分**」を6月28日までに支払うこと、**55歳以上の社員に一律5万円加算すること、グリーンスタッフ精勤手当に一律5万円加算すること**を経営側に提出しました。過去最高の営業収益、当期純利益を実現した昨年度決算を見れば今要求に応える経営体力は十分にあることは明らかです。過去との業績比較について認識を一致させ職場から声を発信して行きましょう!



先行き不透明であった5年前との比較

	2014年度		2018年度
営業収益	19,660億円		21,133 億円
営業利益	3,526億円		3,918 億円
人件費	4,723億円		4,499 億円
当期純利益	1,571億円		2,511 億円
社員数	59,240人		54,880 人

これまでの賃金交渉やボーナス交渉において経営側が主張してきた先行き不透明な情勢化において、業績を大きく上げてきたことが数字に表れています。

一方で社員数が4,000人以上減少する中で社員の若返りも加えて、人件費が抑えられています。機械化や業務委託化が進む中で単純な比較は出来ませんが、社員数が減っている中で新たな施策や世間の期待に応える為に、社員一人ひとりにかかる負担は確実に大きくなっています。

支給額は交渉によって決定します。職場で働く全JR労働者の想いを結集させ、この間の苦勞と努力に見合う正当な成果配分を勝ち取りましょう!

満額回答獲得に向けて東日本ユニオンに結集しよう!